

なぎさ NEWS



夏、トビハゼ観察がもっともおもしろい季節

夏はトビハゼの繁殖シーズン、他の季節では見られない特別な行動が見られます。今回は、この夏の調査で観察されたトビハゼの興味深い様子を紹介します。

まず遠目で干潟を見渡します。もっとも目立つ行動は、ピョンピョンとせわしく飛び跳ねる姿でしょう。普段、トビハゼは急いで移動するときには前方へジャンプしますが、この時期は上方へジャンプします。さらに目を凝らして、そのトビハゼに注目してみます。やや赤みをおびたトビハゼが腕のような大きな胸ビレでふんばり、体をそらしている姿を確認できるかもしれません。また、尾ビレを左右にくねくねと振っている様子も見られます。特徴的な行動や赤みをおびた体色は、目が慣ればよく見えるはずです。

これらの目立つ行動は、繁殖期のオス特有のもので、メスを誘うための求愛行動なのです。隠れる場所がほとんどない干潟では、このような行動は鳥などの外敵にみづかりやすく危険と隣り合わせです。しかし、危険を犯してもトビハゼのオスは子孫を残すために求愛するのです。求愛行動は、鳥だけでなく、私たち人間にも見つけやすく、観察していても、そのおもしろさに飽きることがありません。夏はトビハゼの観察に最も適した季節なのです。

水族園では、毎年、夏と秋に葛西海浜公園の「東なぎさ」と荒川河口でトビハゼ調査を行っています。夏の調査では、特に荒川河口

で求愛行動がよく見られました。今年の繁殖がうまくゆき、秋には稚魚がたくさん見られることを願っています。(飼育展示係 田辺 信吾)



メスを誘うオス。ピョンと上方へジャンプをしたり(写真上)、くねくねと尾ビレを振ったりと(写真下)、忙しい

どんな魚が獲れるかな? 「西なぎさ」で地曳き網



一生懸命、地曳き網をひく子どもたち



網をたくり寄せて中をのぞくと・・・

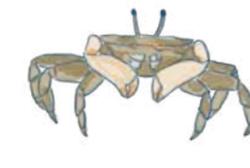
葛西海浜公園の「西なぎさ」。すっきりと晴れて、水平線の向こうには都心のビル群とその先に富士山までよく見えます。潮が満ちてきた干潟で、二手に分かれ、地曳き網を引っ張り張ります。調査用の小さな網ですが、水中を引っ張るのは意外に重く、子どもたちの腕に力が入ります。よしよし、よしよしと100mほど引いた後、わくわくしながら網をたくり寄せてなかをのぞくと、銀色に体を光らせるサッパやボラ、小さなエビのようなイサザアミのなかまがたくさん、また、数は少ないですがマハゼやマゴチの幼魚、ウリクラゲのなかまも入っていました。

フィールドプログラム「東京の海を知る」第3回では、潮がひいた時間に干潟で生き物をさがし、その後、地曳き網を使って生き物を獲りました。天候に恵まれたこの日は、少し特別な観察会となりました。参加した子どもたちの狩猟本能が高かったのか、運に恵まれたのか、通常「西なぎさ」ではあまり見られない生き物が見つかったのです。コトヒキの幼魚やガザミ、そしてヨウジウオです。ヨウジウオはおそらく、ちぎれたアマモの葉とともに流れついたのでしょう。自然はときに意外な出会いを用意してくれるものです。今年度の「東京の海を知る」はこれで終わりですが、来年も引き続き、さまざまな東京の海を体験できるプログラムを計画します。お楽しみに!(教育普及係 天野 未知)

カニカニカニ!! まずはじ〜っと動かずに遠目に泥の上をさがすといいよ。きっと動くカニが見つかるはず!



コメツキガニ
まっすぐに掘られた穴とそのまわりに散らばる砂だんごが目印。



ヤマトオサガニ
泥っぽい場所に斜めに掘られた穴。しおだまりから長い目を出してこっちを見ているよ。



オサガニ

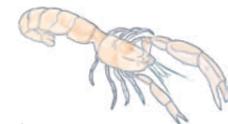


マメコブシガニ
しおだまりでよく見つかる。前歩きと死んだふりが得意。

見つけたらラッキー

干潟を掘るとこんな生き物も見つかるかも。

ニホンスナモグリ



アナジャコ

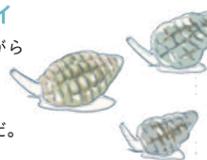


あそび屋の貝

生き物の死骸があったら小さい巻貝をさがしてみよう。

アラムシロガイ

長い水管を振りながらおいを感知して集まってくるよ。干潟のおそうじ屋だ。



なぎさNEWS特別企画

「西なぎさ」の生き物たち 紹介コーナー



葛西海浜公園にある人工の干潟、「西なぎさ」にくらす生き物をまとめて紹介!身近な海辺でこんなユニークな生き物たちに出会えるなんて。しかもここで紹介する生き物はほんの一部。「西なぎさ」を訪ねれば訪ねた分だけ、新しい出会いがあるはず!とにかく楽しい「西なぎさ」、みなさんも生き物さがしに出かけてみてください。

干潟といえはニ枚貝!!

掘ってみるとたくさん見つかるけどほとんど見つからないところがあるよ。種類によってもいるところが違うんだ。

シオフキ

「西なぎさ」で一番多いニ枚貝。殻もたくさん打ち上がっているよ。



アサリ

あまり多くない。一つ一つ殻の 모양が違うよ。



ソトオリガイ

殻がやわらかく、長〜い水管をもつ。



マテガイ

細長いふしぎな形の貝。巣穴に塩を入れてとるよ。



にょろにょろ

泥を掘るとミズミミみたいなニョロっとした生き物がでてくるよ。

イトゴカイのなかま

髪の毛みたいな細〜いゴカイ。いっぱいいる。



チロリのなかま

つかまえて手のひらにのせるとビュビュと吻をだす。肉食のゴカイ。

スゴカイイソメ

貝殻やゴミを巻き込んで皮状の管をつくりその中にすんでいる。泥の上に管の入り口がビョコっと出ているよ。



しおだまりをのぞいてみよう!

潮がひいたときにできるしおだまり。小さな魚がいっぱいいるよ。干潟はエサもあるし、大きな魚が入ってこれないから安全。

ボラ



エドハゼ



マハゼ



しおだまりをそっと歩くとなにかが泳いでいくよ。手網があれば獲れるかも。



シギなどの鳥

エサがたくさんある干潟にはいろいろな鳥がやってくるよ。

